

契約変更理由書

神戸市

業 務 名	京橋防波堤整備工事
工事概要 (設計変更) 当初 グラブ床掘 8,117m ³ 、基礎捨石 4,949m ³ 、底版ブロック・方塊ブロック・直立消波ブロック・根固ブロック・上部工用床版製作：計 366 個、据付：計 280 個、PI 方塊ブロック・PI 根固ブロック製作：計 347 個、上部工 923m ³ 、撤去工 1 式、仮設工 1 式、潜水探査 1 式 変更 グラブ床掘 13,244m ³ 、基礎捨石 4,949m ³ 、底版ブロック・方塊ブロック・直立消波ブロック・根固ブロック・上部工用床版製作：計 366 個、据付：計 280 個、PI 方塊ブロック・PI 根固ブロック製作：計 347 個、上部工 901m ³ 、撤去工 1 式、仮設工 1 式、潜水探査 1 式	
契約変更の理由 (設計変更) <ul style="list-style-type: none">● 請負業者との協議の結果、「機雷残存海域等における港湾工事等の安全対策実施要領」に基づき、想定より探査範囲を広げる必要が生じたため、浚渫前に実施する潜水探査面積の数量を変更する。● 神戸空港内の工事用地については、空港施設や近隣施設からの要請に基づき空港管理者において粉塵対策を行っているが、空港管理者と協議の結果、本工事で使用する空港島ブロック製作ヤード及び車両通行経路については、利用者にて粉塵対策を行う必要が生じた。このため、散水工（場内散水・タイヤに付着した泥等を一般道へ持ち出さないようにするためのタイヤ洗浄）を追加する。● 空港管理者及びメリケンパーク管理者と協議の結果、空港島ブロック製作ヤード出入口及びメリケンパーク内の作業に伴う保安員を配備する必要が生じたため、保安員を追加する。● 製作済みブロック置場について、土地一時使用承諾書の付帯条項（第 17 条 2）「使用承諾の期間中であっても、本件土地を公用、公共用に供するため必要とするときは、予告のうえ本使用承諾を取り消すことができるものとする（使用承諾の失効）」に基づき、空港道路工事において一部道路用地として使用することが空港管理者より通知され、ブロックを移動させる必要が生じたため、ブロック場内転置を追加する。● 工程調整の結果、ブロック製作・仮置・転置・積出しを並行して行う必要が生じたため、必要なクレーン数量が増加する。これに伴い、クレーンの組立・運搬・解体の数量を変更する。● 標準断面を基に床掘土砂の数量を算出していたが、深浅測量の結果を踏まえ、実施設計の見直しを行い、断面構成を細分化及び床掘断面の精査のうえ、土量に変更が生じたため、床掘土砂の数量を変更する。● 神戸海上保安部との協議の結果、防波堤延伸に伴い、既設標識灯の移設が必要となったため、	

簡易標識灯移設を追加する。

- 現場の対岸に当たる新港第1突堤に係留される大型船舶は、保安部の巡視船・調査船や海技教育機構の練習船が主であり、契約当初のR6年度時点では、翌年のR7年度の各機関の船舶業務スケジュールや入出港予定は決定しておらず、また、メリケンパークイベントについても同様に契約当初のR6年度時点では、翌年のR7年度のイベント内容及び開催日時は決定していなかった。契約後、関係者から要請を受け、各関係者と協議の結果、新港第1突堤の大型船入出港時やメリケンパークイベント開催時に、作業船舶を現場から一時退避する必要があるため、船舶退避を追加する。
- 空港島用地を利用する場合の土地使用料について、空港管理者と使用料減免について協議していたが、減免不可となったため、役務費として、空港島用地の土地使用料を追加する。加えて、荒天等における船舶退避については、係船料の発生しない港内停泊地への退避を想定していたが、受注者と協議の結果、夜間の保安・警戒態勢など追加経費が発生することが明らかとなったため、公共用バースへの係留を行うものとし、係船料を追加する。
- その他、数量、仮設工、共通仮設費などの軽微な変更を行う。